

板橋キャンパス16号館2階
 開室時間：平日 9時から17時
 土曜日 9時から12時
 問合せ：03-3961-1861

東京家政大学グローバル教育センター

高い専門性+英語力・グローバル マインド を築く



ニュージーランド・マッセイ大学 幼児・初等教育&英語研修

自然豊かで多様性を尊重するニュージーランドの教育を学ぶ

ニュージーランドでの幼児・初等教育&英語研修は今年で3回目となります。北島の中核都市パーマストンノースにあるマッセイ大学での語学研修とともに、現地での就学前教育機関(ECEセンター)や小学校を訪問しての保育・教育活動への参加を通して、国際的な視野を深めていくことを目的としています。また、2週間にわたり、一人一家庭のホームステイを通して異文化理解を深めていくこともできます。今回は2回の引率に関わった児童教育学科の半澤嘉博教授にお話を伺いました。



児童教育学科 半澤 嘉博教授(右)

英語の語学力を高める

Q 2週間の英語研修は
 どんな成果がありますか？

A ニュージーランドの英語は、米国の英語とは多少異なり、英国の発音やイントネーションに近いものです。就学前教育機関(ECEセンター)や小学校でも、子供たちが積み重ねるように話しかけてきますので、英語で即応しなければなりません。また、ホームステイでは、日常的な会話だけでなく、日本の様々な伝統文化などにも興味があり、質問を聞き取るとともに英語で分かりやすく説明しなければなりません。そういった環境が必然的に自分自身の語学力を高めてくれます。僅か2週間の研修ですが、日本に帰ってきてから、少し英語耳に変わってきている自分自身に気づくはず。この留学をきっかけに、英語を自分の将来の有用な資質能力にしていけるという自信をもち、継続して英語を学んでいくことが大切です。



マッセイ大学の始業式
 パーマストンノース市長と



ホームステイ先での家族との囲らん

保育士・教員としての 資質・能力の向上

Q 就学前教育機関(ECEセンター)や
 小学校の訪問にはどんな成果がありますか？

A ニュージーランドでは、5歳の誕生日まで日本の保育園や幼稚園に当たる就学前教育機関(ECEセンター)に通うことが一般的です。そして、5歳の誕生日から小学校に通い始めます。実際に訪問してみると、教育制度だけでなく保育や教育の内容も日本と異なることが多いことに気づきます。特に、自分の個性を意識させること、自分の考えをしっかりと表現させること、仲間や環境を大切にする気持ちを育むことを重視していることなど、将来、保育士や教員を目指している学生にとっては、これからの日本の保育や教育を考える上で大切な学びになります。



ECEセンターや小学校への訪問

マオリの伝統や文化に触れる

Q ニュージーランドならではの
 学びがありますか？

A 昨年のラグビーワールドカップでのオールブラックスの活躍により、「ハカ」が日本でも有名になりました。ハカは、マオリ族の儀式であり、畏敬に満ちたハカは、戦う時だけでなく、平和を結ぶ時にも互いの部族のプライドを大切にするためのものです。昨年、郊外のマオリ族の多い地域の小学校を訪問した時も、子供達にも伝承されている儀式や言葉かけ、また歌の交歓などで温かく迎えてもらい、感激しました。

マオリの挨拶「キア・オラ」は「こんにちは」という意味です。日常の様々な場面で見聞きすることができます。講義の中でも生活に根差したマオリ文化を学ぶことができます。ぜひ、この機会に異文化理解を深めて、国際人としての感覚を身に付けてください。



マオリ文化を学ぶ講義



オールブラックスメンバーの試合見学

マッセイ大学の学生との交流



オリエンテーションでのマッセイ大生との交流

Q マッセイ大学の学生達とは
 どんな交流ができますか？

A マッセイ大学は4万人を超えるニュージーランド最大の学生を有する国立大学です。農業や酪農、獣医学などを中心とした学部が特に有名で、世界各国から4千人を超える留学生がいます。大学内での昼休み等での交流だけでなく、プログラムとして、市内オリエンテーション、音楽イベントでの交流等の機会も設定してあります。同年代のコミュニケーションにも積極的に取り組んでみてください。

マッセイ大学幼児・初等教育&英語研修も2019年度で3回目を迎え、受け入れ側の現地スタッフにも東京家政大生の取り組みに関して高く評価していただいております。また、参加した学生からも満足度100%、「現地の文化だけでなく現地の保育・教育を実際に目で見て、この研修ならではの学びをすることでとても嬉しかった」「自分がどのような保育者になりたいのか、どのような保育所に勤めたいのか、自分の気持ちが少し理解できた」「新しいことにチャレンジする楽しさを経験できて、よかった」「私の学びたいことが学べて、体験できてよかった」といった学生の次の活動への意欲につながる研修への感想が多数寄せられています。

保育士や教員を目指す学生にとって、ホームステイ先や大学で実践的な英語を身に付けるとともに、海外での保育や教育の実際に触れることは、グローバルな視点をもつことができる貴重な体験となるでしょう。ぜひ多くの方に参加してもらいたいと思っています。